

HP Officejet Pro Xのスピードがあらゆるビジネスの現場で文書印刷の常識を刷新している。



HP Officejet Pro Xシリーズは、同クラスのレーザープリンターを置き去りにするプリントスピードで、ギネス世界記録に認定されるビジネスインクジェットプリンターだ。その速さをはじめとする先進的な機能によるメリットを、さまざまなビジネスの現場が享受している。

Case study ポーズ株式会社

HP Officejet Pro Xでスピードプリント ミーティング時の周知徹底に活用



革新的な製品を送り出し続けて 50周年を迎えたポーズ

マサチューセッツ工科大学の教授であったアマー G. ポーズ博士により、1964年に設立されたポーズ・コーポレーション。その日本法人がポーズ株式会社（以下、ポーズ）だ。「生演奏の感動を再現」することをテーマに研究開発を重ね、「小型高性能スピーカーテクノロジー」をはじめ、多くの独自技術を生み出した。以来、幅広い分野にスピーカーを中心とする独創的な製品を提供。多くのオーディオファンから圧倒的な支持を受けている。近年は、周囲の騒音を電氣的に打ち消すノイズキャンセリングヘッドホン「クワイアットコンフォート」シリーズなど、斬新な発想から生まれた製品群で、次世代のオーディオスタイルを牽引している。

オフィスエリアとは異なる価値観を プリンターに求め HP Officejet Pro Xを導入

ポーズの渋谷本社ではオフィスエリアに複数台のレーザー複合機を設置している。総務人事部で購買・施設管理部長を務める羽鳥公康氏によれば、そのプリント環境とは別に、ミーティングスペースなどの共有エリアでは、オフィスエリアとは異なる価値観から、適切なプリンターの導入を検討していたという。「単なる情報共有以上に、もっと高い強度でスタッフの認識をひとつにしたい、周知を徹底したいというシチュエーションがあったのです」たとえば、新製品の立ち上げ時など、スタッフ間のムードや士気が問われる局面だ。「そのような場面で、遊撃手的に使えるプリンターがあればと、HP Officejet Pro Xに着目しました」



ポーズ株式会社 総務人事部 購買・施設管理部長 羽鳥 公康氏

物理的な“紙”を“その場で手渡し” 重要事項の周知徹底に活用

HP Officejet Pro Xシリーズは、A4カラーで最速70ページ/分とギネス世界記録に認定されるプリントスピードを実現したHPビジネスインクジェットプリンターの最新モデル。共有エリアでは次のように活用しているという。「会議前に資料を配らず、ミーティング中はスライドに集中しつつ議論を重ねます。そして認識を共有した直後に、議論が集中した部分など、必要な箇所だけをすぐにプリントするのです。物理的な“紙”を“その場で手渡し”というのはインパクトが大きい。とにかく速いのでスタッフを待たせることもありません」また、インク定額パックについても次のように評価する。「とても興味深い。消耗品コストが固定費として計算できるのはありがたいですね」最後に羽鳥氏は次のようにまとめた。「HP Officejet Pro Xならスピーディなプリン

トアウトが求められるイベント会場の仮設オフィスなどにも最適だと思います」



特に強調したい決定事項はミーティング直後にプリントして手渡す



USBメモリから直接プリントできる「これも便利」と羽鳥氏